

議会のひろば

2025.11.20 No. 84

今月の
特集

菊川市の未来を担う熱意！
「菊川市こども議会」開催

特集……………P01

9月定例会概要……………P03

一般質問……………P06

みんなの声……………P13

きかせてパパママの声 他…P15



菊川市ホームページ
市議会のページは
こちらから



特集

菊川市の未来を担う熱意！ 「菊川市こども議会」開催

8月18日、菊川市議事堂にて令和7年菊川市こども議会が開催されました。市内の小・中学校の児童・生徒がこども議員として参加し、夏休み中の学びを活かして、菊川市の未来に向けた熱い意見や提言を堂々と発表しました。

〈本格的な学びと調査の5日間〉

こども議会は、単なる発表会ではありません。こども議員たちは、夏休み期間中の5日間を使い、議会の仕組みを学びながら調査に邁進し、日常の疑問や未来への希望を提言へとまとめ上げました。

7月25日のオリエンテーションからスタートし、議員による議会についての基礎説明を受け、菊川市の課題解決に向けたテーマ決めから取り掛かりました。

2日目以降は、市役所の各部署を訪ねて質問を重ねたり、市役所外への視察調査を行ったりと、資料収集や課題調査に熱心に取り組みました。メモを取りながら真剣に話を聞き、

提言内容を練り上げていく姿は、まさに未来のリーダーそのものでした。自分たちのテーマを深めるために何度も足を運び、当日に備えて原稿の読み上げ練習も行いました。

〈議場で響いた新鮮な発想〉

本番8月18日は、保護者や傍聴者が見守るなか、こども議長が交代で議事を進行。グループごとに3人ずつ意見・提言を発表しました。提言の内容は、教育、環境、地域の課題など多岐にわたり、大人では思いつかないような新鮮な発想が光りました。本格的な議事の進行では、市長や教育長をはじめとする執行部へ提言が投げ掛けられ、これに対し市長からの講評や担当部長からの答弁・コメントが寄せられるなど、大人顔負けの真剣なやり取りが繰り広げられました。緊張しながらも最後まで堂々とやり遂げたこども議員たちでした。

〈議会の外で垣間見た本音と提言の意義〉

閉会後のアンケートでは「緊張したけど頑

張れてよかった」「もっと長い期間やってみたい」といった声が聞かれ、こども議員としてよく調べ、勉強した成果を発表する経験が、大きな達成感と自信につながったことが伺えます。また、休憩中のこども議員からは、「将来は菊川市議会議員になりたい」という夢や、身近な学校の課題に関する率直な声も漏れるなど、この活動がこどもたちの市政への関心を深めていることが分かりました。

そして特筆すべきは、今回のこども議会において「通知表をなくしてほしい」という提案が出されましたが、後日、近隣自治体で県内初の通知表の廃止をすることが明らかになったことです。これは、こども議会での提案が、いかに時代にタイムリーであるか、未来を担うこどもたちの純粋な意見にこそ真実があると実感させられる出来事でした。

今回のこども議会は、参加したこどもたちにとって貴重な学びの場であるとともに、菊川市の未来を担う人材を育む大切な取組です。市議会として、執行部とともにこども議会からの提言に真剣に向き合い、この経験がこどもたちのさらなる成長の糧となることを心より願っています。

令和7年こども議員を紹介します！



すずき ここな
鈴木 心菜さん ★
(小笠北小学校 5年生)
「飼い主のいない外の猫達に私達ができること」



すずき ひな
鈴木 陽菜さん ★
(加茂小学校 6年生)
「子どもたちの主体性と勉強意欲向上へ」



ないとう ほたか
内藤 帆孝さん
(加茂小学校 5年生)
「菊川市から広がる自然」



まつした りあん
松下 凜杏さん
(小笠南小学校 5年生)
「不法投棄が消えるまち、菊川」



さわさき たかや
沢崎 天哉さん
(堀之内小学校 5年生)
「街もきれいに！心もきれいに！みんなで再利用」



こんどう しんご
近藤 慎吾さん
(小笠北小学校 5年生)
「つつち表について」



いしがみ けんた
石上 健太さん ★
(岳洋中学校 2年生)
「菊川市の魅力と移住者を増やすための提案」

氏名・学校名・学年・発表した「タイトル」
★印のついている方は「こども議長」となって、こども議会を進行してくれました。



よしだ みずき
吉田 瑞希さん
(小笠北小学校 5年生)
「お茶の使い道をたくさん見つけてふるさとのお茶畑を復活させたい」



おちあい りょうた
落合 涼太さん
(小笠南小学校 5年生)
「菊川のお肉おいしく食べて」



発表の様子はこちらから
映像配信ページへ



こども議員・傍聴者へのアンケート結果はこちらから
ホームページへ



議案
23件



報告
2件



諮問
1件

賛否が分かれた議案等一覧表

議案番号	議案名	結果	本 田 高 一	黒 田 茂	松 永 晴 香	白 松 光 好	奥 野 寿 夫	藤 原 万 起 子	石 井 祐 太	渡 辺 修	須 藤 有 紀	東 和 子	坪 井 仲 治	織 部 ひ と み	織 部 光 男	小 林 博 文	西 下 敦 基	山 下 修	赤 堀 博
議案第49号	菊川市水道料金審議会条例の制定について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第50号	菊川市黒田家代官屋敷資料館条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第51号	菊川市公民館条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第54号	菊川市菊川文化会館アエル設置条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第55号	令和6年度菊川市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第64号	令和7年度菊川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第68号	市有財産の取得について（陽圧浄化ユニット用活性炭繊維フィルタの買換え）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第69号	第3次菊川市総合計画基本構想の策定について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第70号	菊川市立学校施設使用条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

※○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長（赤堀 博）は採決に加わらない。

すべての議案名および審議結果は菊川市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

概要

9月定例会 審議結果

会期 33日間 令和7年8月28日～9月29日

令和6年度決算

お金の使い方をチェック

令和6年度において、税金がどのように使われ、どのような成果や実績があったのかを確認し、課題や問題点などについて議論しました。

会 計 名	歳入決算額【収益額】 (前年度との比較)	歳出決算額【費用額】 (前年度との比較)
一般会計	約260億5,072万円 (約43億757万円増)	約247億2,924万円 (約35億918万円増)
国民健康保険特別会計	約42億1,595万円 (1億8,567万円減)	約42億465万円 (約1億9,581万円減)
後期高齢者医療特別会計	約6億7,491万円 (約1億2,265万円増)	約6億4,775万円 (約9,940万円増)
介護保険特別会計	約39億7,775万円 (約1億3,643万円増)	約38億8,964万円 (約1億1,179万円増)
土地取得特別会計	771円 (4円減)	771円 (4円減)
病院事業会計	約64億385万円 (約1,256万円増)	約69億7,778万円 (約2億2,285万円増)
水道事業会計	約21億8,259万円 (約7億1,286万円増)	約17億3,062万円 (約1,630万円減)
下水道事業会計	約13億3,901万円 (約1億3,758万円増)	約14億7,371万円 (約1億6,032万円増)

※土地取得特別会計以外は、1万円未満を切り捨てています。

※下水道事業会計・病院事業会計・水道事業会計については、収益的収支および資本的収支の合算であり、赤字分は内部留保資金などで補てんしています。

委員会・分科会への事前質疑提出状況

委員会活動の「見える化」を進める一環として、委員会で行う質疑の事前通告の状況を公表します。
9月定例会の会期中に開催された委員会では、下記のとおり事前質疑が提出されました。

	頁数	総務建設委員会										教育福祉委員会							
		黒田茂	白松光好	藤原万起子	石井祐太	渡辺修	東和子	坪井仲治	織部ひとみ	赤堀博	本田高一	松永晴香	奥野寿夫	須藤有紀	織部光男	小林博文	山下敦基	山下修	
議案第55号一般会計歳入歳出決算	880	0	15	30	7	29	10	34	－	19	0	13	32	22	0	8	27	25	
議案第63号一般会計補正予算（第2号）	182	13	0	6	7	9	9	14	0	0	0	6	0	13	0	7	5	9	
総務建設委員会付託議案（議案第59、61、62号）	143	0	5	0	3	8	0	2	0	0	－	－	2	－	－	－	－	－	
教育福祉委員会付託議案（議案第50、51、54、56、57、58、60号）	214	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	13	14	4	0	0	30	0	
事業評価（各委員会2事業を評価）	－	10	6	6	5	8	6	9	4	0	0	7	5	7	0	6	11	4	
合計		23	26	42	22	54	25	59	4	19	0	39	53	46	0	21	73	38	

Q 飼いのいない猫の不妊去勢手術について、補助金執行率が77・6%の要因は。また、補助額増額について考えは。

A 執行率77・6%の要因は、現行の補助制度が手術前の申請で交付決定をし、交付決定後に申請者に猫を捕獲してもらった形であるが、捕獲ができず手術に至らないケースが発生するためである。手術後の申請が可能か、要綱の改正を視野に入れて進めており、来年度の補助事業から適用していきたいと考えている。現行制度の補助額は、雄が6千円、雌が9千円である。以前は手術費が雄が約1万円、雌が約2万円であったが、近年5千円前後で手術を行う病院があるため、補助額の見直しは考えていない。

〈執行部回答後の議員意見〉

動物愛護に関して、ボランティアの自費の支出が多くなっていると思う。不妊去勢

手術をしている善意のボランティアの皆さまの負担が少しでも減る方向で、補助の施策を考えていただきたい。



Q 不法投棄、ごみのポイ捨て回収件数の推移は。また、監視カメラの設置は自治会が順番待ちをしていると聞いているが、環境衛生自治推進協議会でのカメラ購入補助について具体的な検討は。

A 不法投棄について、環境推進課で回収した件数は昨年度9件、一昨年度25件、前年度比で16件削減した。自治会と連携での監視カメラの設置や、職員による定期パトロールの効果と考えている。不法投棄件数は令和3年度81件、それ以前も同程度で推移している。不法投棄は同じ箇所に

される傾向があり、令和4年度から環境保全センターの職員がパトロールして、回収することにした。現在、大型カメラ3台、小型カメラ4台の貸出しを行っている。大型カメラは1年間の貸出しスケジュールを組んで運用している。小型カメラは随時受付を行っているっており、現在順番待ちはない。また、自治会によるカメラ購入に対する補助制度を本年度から運用開始している。

〈執行部回答後の議員意見〉

パトロールも抑制になるし、見つけた時点で処分すれば、そこも減っていくと思う。また、カメラ設置による抑止効果も見込めると思う。



〔Q〕河川愛護団体の刈草範囲が狭くなった影響は。

〔A〕河川愛護団体が除草を実施している河川は、主に県管理河川である。従来どおり除草を行っている団体もあれば、人手不足や熱中症予防などで除草面積を減らしている団体もある。刈草範囲が狭くなった影響は、河川堤防の状態の把握困難、景観の悪化、ごみの不法投棄などが心配される。本来であれば河川管理者が適切な維持管理を行うべきであるが、現状としては地域の皆さまに可能な範囲で河川愛護への協力を依頼しているところである。

〈執行部回答後の議員意見〉

河川愛護の目的で流域の自治会が除草を行っているが、今後、過疎化が進む地域も発生することが予想されるため、市民全体で考える方向に持っていくべきである。

審査 ピックアップ 議案 第63号

菊川市一般会計補正予算（第2号）

令和7年度の事業を行うに当たり、当初の予算に過不足が生じたものなどについて、その理由などを確認し、課題や問題点などについても議論しました。

〔Q〕学校給食施設の破損劣化とあるが、施設の老朽化を考えると今後も想定されるのではないか。食の安全性を鑑みて、その対応は。

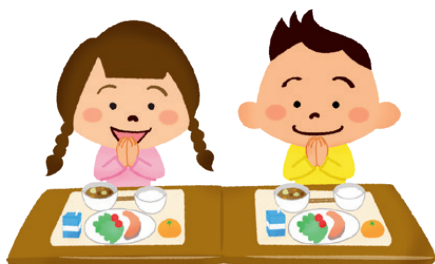
大規模改修や建替えも含めた検討を進めていく。

〔A〕調理機器や給排水設備など、衛生管理に直結する部分を優先して修繕を行うとともに、設備の点検結果を踏まえた更新も進めているが、機器

や設備全般に経年劣化が進み、緊急的な修繕が必要となっている。優先度に応じた修繕計画を策定し、施設の修繕・更新を進めるとともに、中長期的な視点から、今後必要となる施設の機能や規模についても検証を行い、必要に応じて

〈執行部回答後の議員意見〉

突発的な修繕が多いという印象を受けたが、予防修繕も含めて、計画的に給食センター運営をしていただきたい。



〔Q〕小菊荘について、修繕を必要としている箇所が多いと聞いているが、今後の修繕予定は。

〔A〕今回の補正では、厨房の換気扇不具合の修繕、ボイラーのガス漏れ警報器の耐用年数経過に伴う警報器の撤去及びガス漏れ時にメーター側でガスを遮断するための工事、その他に緊急的に発生する修繕にかかる経費を計上した。今後は、施設の老朽化や2年間の休館の影響に伴う緊急的な修繕を予定している。また、館内照明のLED化や屋上防水塗装の塗替え、空調機器の更新、宿泊室の畳の張替えなどを計画的に実施していく。

〈執行部回答後の議員意見〉

新しい施設管理者がおいしい食事を提供しておりありがたいが、蓮池公園も含めた環境づくりが必要ではないかと思う。施設と一体で魅力を高めるための予算措置が必要。

一般質問

議会の映像配信をご覧いただくには



本会議の生中継や録画映像をインターネットにより配信していますので、ぜひご覧ください。また、会議録はホームページ、市役所4階議会図書室、菊川文庫、小笠図書館で閲覧できます。(令和7年9月定例会の会議録は準備出来次第となります)

一般質問とは？

議員が地域住民に密着している事項や市の施策について、状況確認や今後の方針について説明を求めるため質問を行います。また、市への政策提言を行うこともあります。

質問議員：14名

※議員名の下の（ ）は、所属する会派または政党を示します。



一般 働く方々への熱中症対策

西下 敦基 (市民ネット)



Q 企業への熱中症対策に対応した各種の補助金・助成制度では、業務改善助成金、エイジフレンドリー補助金、働き方改革推進支援助成金、省エネ補助金などがあり、このような各種制度の周知や申請の支援をして、熱中症への対策を進めることは検討しているか。

Q 暑さが危険な時期の公共事業を一部でもほかの時期に移行させることはできないか。

A 工期の早期発注や債務負担行為の設定を活用し、施工時期の平準化に取り組んでおり、熱中症対策にもつながる取組であると考えている。

他に「養育費不払いなどの課題」、「新技術を活用した歩道整備」について質問しました。

A 市内企業に対し有益な情報について、随時周知を行っていく。補助金の申請支援では、事業者からの相談に対し、産業支援センターが実施している経営相談会の専門家相談を紹介するなど、事業者がスムーズに申請できるよう支援していく。

Q 藤枝市では、従業員労働環境改善事業費補助金という取組が行われている。本市においてもこのような制度の導入はできないか。

A 現在、本市では、市内企業に勤務する人や農業に従事する人の熱中症対策など、労働環境改善を目的とした補助制度はないが、国の助成金などの周知をとおして、市内事業者の熱中症対策が推進されるよう取り組んでいく。



一般 小学校のこれからとまちづくり

坪井 仲治（みどり21）



近い将来、少子化により小学校1校あたりの児童数が70人未満となり、1学年につき1クラスが維持できず、複式学級が存在するレベルになる可能性がある。来たる小規模校時代に向けての小学校のあり方と当該地域の自治会の問題について質問した。

現在、複式学級の学級編成をしている小学校はないが、近い将来、複式学級や統廃合の必要が出てくる。現時点での検討状況と今後の進め方は。

今後、児童数の減少と小規模校の増加が見込まれ、複式学級の発生も想定されるため、教育委員会では、有識者や地元教職員で構成する「菊川市学校の未来を考える会」において、望ましい教育環境確保のための方針案の作成を進めている。現時点では、統廃合ではなく、ICT機器を活用するなど、教育方法を工夫することで、各学校における多様な学びの機会を確保し、質の高い教育を提供していくことを考えている。本年度は、「学校の未来を考える会」の委員に、学校運営協議会委員も加

えたうえで、来年度実施する地域との意見交換に向けた準備を進めている。これを踏まえ、来年度は、学校運営の将来像について、地域との意見交換会を行い、具体的な方策策定へつなげていく。

小学校統廃合までのプロセスは。従来の通学区の区域を残したまままでの小規模特認校制度の採用による複式学級の抑制、複式学級の導入、統廃合の順番となる。



一般 こどもの生理に寄り添う

松永 晴香（みどり21）



毎月の生理に不安を感じながら登校しているこどもたちが菊川市にいる。こどもたちの学び環境を守るため、生理について正しく学び、理解し、支え合える社会を作りたい思いから質問した。

小中学校において、児童生徒が初経を学校で迎えた際の対応マニュアルや体制は整備されているか。今後、地域展開される部活動の関係者などに、教育に携わる者として、研修を行うべきではないか。

初経の対応に関する統一的なマニュアルや指導手順は設けていない。学校に関わる方々に生理についての理解を得るということは、大変重要だと考えている。今後展開される地域活動の指導員研修会の中で、初経や月経に関する知識、対応について学ぶ機会を設けるようにしていく。

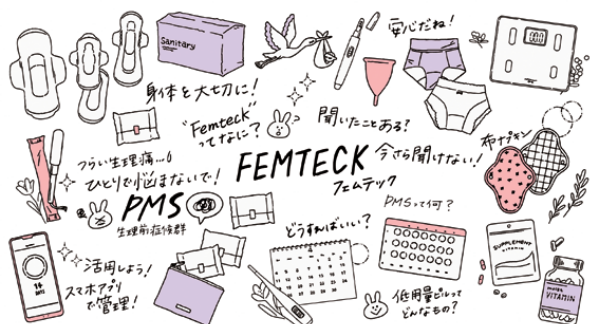
文部科学省より、月経に伴う症状等に適切に対応するよう通知されているが対策は行ったか。

養護教諭が児童生徒から生理痛等の症状による相談があった際に受

診を促す取組を行っている。今後、保健調査票に、「月経に伴った服薬が必要である」や、「月経に伴う腹痛により部活動の見学を希望します」など記入できるよう対応していく。

女子トイレへの生理用品（ナプキン等）の常設を進める考えはあるか。

女子トイレへの生理用品の常備については各学校の実情に合わせて取り組んでいきたいと考えている。



一般 重層的支援体制整備事業の実施

東 和子（みどり21）



重層的支援体制整備事業は、人口減少及び少子高齢化による支え合い機能の脆弱化、地域の担い手不足等が進む中、地域社会の基盤の再構築も視野に入れ、対象者の属性を問わない相談支援、多様な参加支援及び地域づくりに向けた支援を一体的に実施することとし、令和3年4月から取組が始まっている。この事業は、複雑化・複合化した課題及び制度のはざまにある地域住民の支援ニーズに対応するため、包括的な支援体制を整備し、人と人、人と社会とつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、お互いを尊重し合いながら暮らししていくことのできる地域共生社会の実現を目指すものである。

制整備事業の推進では、当該事業実施計画（素案）の作成を達成目標とし、研究、検討を重ねている。

● 実施計画（素案）の策定を進めるに当たり、これまで検討したこと、問題点を伺う。

▲ 本事業は新たな取組を始めるものではなく、既存制度を活かしながら、高齢者、こども、障害、生活困窮など、対象者ごとの支援を連携させることで、よりスムーズな支援を目指すもので、各課の連携をさらに強化する形で実施する。

● 重層的支援体制整備事業の取組について伺う。

▲ 昨年度から庁内の相談業務担当者が集まり、事業の研究や課題整理などを行っている。また、本年度、県のアドバイザー派遣事業を活用した研修など、事業開始に向けた準備を進めている。令和7年度健康福祉部の運営方針における重層的支援体



一般 窓口収納業務の今後について

白松 光好（みどり21）



菊川市において今後キャッシュレス収納を増やしていく方針が出されている。順調にキャッシュレス納付が増えてくれば市役所窓口収納業務はどうなるのか方針を確認した。

● 菊川市役所の窓口収納業務の取扱い件数は。

▲ 昨年度の菊川市役所での窓口収納件数は1万3621件である。

● 現在の窓口収納金融機関の委託料はどのような設定となっているのか。

▲ 指定金融機関からの派出職員1名分の人件費及び移動に係る費用として、派出事務を行っている市町一律消費税を加えて330万円となっている。

● 今後のキャッシュレス収納に向けての取組方法と今後のスケジュールは。

▲ 本年12月にキャッシュレス機能対応レジの導入に向けて進めている。市民課及び小笠市民課窓口において、各種証明書の手数料や行政資料のコ

ピー代などの少額収納についてはこのレジにて対応予定である。また、現在地方税で対応しているe-LEQRを活用した収納では令和8年9月以降の地方税以外での対応が開始されるため準備を進めている。

● 市役所の窓口収納業務を廃止する方針はあるか。あればその予定時期は。

▲ キャッシュレス推進方針の中には、収納窓口業務を廃止する旨の記載はないが、今後の状況の変化や費用対効果を踏まえ、収納窓口業務の在り方について検討していく。

他に「継続相談窓口の充実」について質問しました。



一般 食料システム法と持続可能な菊川農業

渡辺 修（みどり21）



本年6月に成立した「食料システム法」について、菊川市農業全体の競争力向上に不可欠と考え質問した。

Q 資材費や原材料費の高騰、気候変動による不安定な天候などで食料供給が困難になる中、「食料システム法」を活用し、菊川市の持続可能な農業をどのように構築するか。

A 本法は「合理的な費用を考慮した価格形成」と「食品産業の持続的な発展」に向けた新たな計画認定制度の二本柱であり、今後の運用開始を見据えて市の農業政策や地域特性に合わせた取組の検証が必要である。

Q 菊川茶の価格低迷が深刻である。食品事業者との連携による安定的な契約取引や有機栽培茶・抹茶生産の促進について、市はどのような支援を行うのか。

A 有機JAS認証取得への補助金を創設し生産拡大を後押ししているほか、海外展開企業の協力を得て販路開拓を進めている。

Q メロンやイチゴなど施設園芸で



の高温対策や省エネ技術導入について、市の対応を伺う。

A 県農林技術研究所の技術書を活用し換気・遮光・遮熱などの基本対策を周知するとともに、この技術を活用した普及活動や実証実験を行いながら、省エネ暖房装置導入技術等に関する施策を研究していく。

Q 相場の意図的な暴落を防ぎ、コストと製品の良さ、営業で何が必要か考えられるような、未来における菊川農業の展望は。

A 国や県と連携し、法律を活用して、生産者のためになるような努力をしていきたい。

一般 市民プールの整備と運用について

本田 高一（菊川ゆめ未来）



市民プールの整備と水泳教育の今後の在り方、そして地域スポーツとの連携について伺った。

Q 横地小学校でのスイミングスクールの実証実験の成果と今後の課題について伺う。

A 横地小学校の距離であれば民間施設を活用した水泳授業は実施可能である。一方で、2時間連続での水泳授業は、低学年の体力への負担や養護教諭が学校を離れてしまうなど教員の負担が課題である。

Q 市民プール整備について伺う。

A 財政面や将来的な持続可能性を踏まえると難しい状況にあるため、現時点において新たに市民プールを建設する計画はない。

Q 学校プールの老朽化と更新費用の増加を踏まえた、拠点方式による地域ごとのプール整備の考えについて伺う。

A 施設面において問題がない、安全に利用可能な学校プールは継続して利用しつつ、大規模改修が必要と

なる学校プールから、拠点方式や民間活用などの選択肢を比較し、検討していく。

Q 移動手段にスイミングスクールバス、公用車、市内企業のバス等を活用することが可能か伺う。

A スクールバスや公用車の利用を基本として検討していく。

Q 部活動の地域展開における市民プールが果たす役割を伺う。

A 各家庭のニーズに合わせて民間のスイミングスクールを活用することを想定している。



一般 同報無線での情報発信について

石井 祐太（市政の見える化党）



災害や緊急時に市民一人ひとりに確実に情報を届けることは極めて重要であり、実際に議会報告会においても、市民から「同報無線が聞こえづらい」との意見が寄せられている現状を踏まえ、改善の必要性を感じ質問した。

◎ 同報無線で発信された内容と同様の情報を得るための手段には、どのようなものがあるか伺う。

▲ 同様の情報は、茶こちゃんメールでも発信しており、また、同報無線音声確認サービスでは、電話から過去2回分まで再放送を聞くことができる。防災に関しては茶こちゃんメール、LINEやXなどのSNS、テレビのデータ放送（dボタン）など、複数の媒体を通じて情報を発信している。

◎ 茶こちゃんメールの登録者数と、電話による同報無線確認サービスの利用件数はどの程度か伺う。

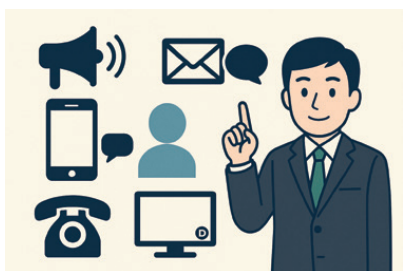
▲ 茶こちゃんメールは8274名が登録しており、電話による同報無線再確認サービスは年間で772件

の利用があった。

◎ 今後、同報無線と同等の情報を市民に周知するための手段の拡充を考えているか伺う。

▲ 同報無線や茶こちゃんメールに加え、LINEやXなどのSNS、テレビのデータ放送を活用している。ただし、情報発信に統一性が欠ける点もあり、今後庁内での検討が必要と認識している。災害時には正確かつ迅速な周知が不可欠であり、引き続き手段の拡充と市民への周知強化に取り組んでいく。

他に「危機管理課専門監」、「防災設備」について質問しました。



一般 困難を抱えた市民に情報と支援を

奥野 寿夫（日本共産党）



生活に困難を抱えた市民への必要な情報提供と支援体制などについて質問した。

◎ 菊川市が発行するくらしの便利帳には、生活が困窮している市民が使える制度の具体的な紹介がないが、生活保護など生活困窮者が使える制度を紹介するパンフレットの作成、窓口へのポスターの掲示、申請書の設置、インターネットでの分かりやすい紹介などができないか。

▲ 生活困窮世帯への支援事業として生活保護と生活困窮者自立支援事業がある。生活保護については、冊子「生活保護のあらまし」を作成して、生活相談の際に相談者への配付・説明をしている。生活困窮者自立支援事業については、委託先の菊川市社会福祉協議会が発行している広報紙で毎月お知らせするとともに、福祉課と共同でチラシを作成し、相談受付時に配付・周知している。窓口へのポスター掲示については、プラザけやき内の掲示板にポスターを掲示し、制度の周知を図る。申請書については、相談受付時に生活状

況などの聞き取りや制度の説明を十分に行ったうえで生活保護の申請意志を示したときに渡しているため窓口への配架は考えていない。市ホームページでは生活保護と生活困窮者自立支援事業それぞれのページを作成し、事業の概要などを掲載し、周知している。なお、菊川市くらしの便利帳の令和8年度版から生活相談に関する情報を掲載し、制度の周知を図る。

他に「地域公共交通」、「道路の維持管理」について質問しました。



一般 地域と共に育つ学校とは

藤原 万起子（市民ネット）



コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民などが力を合わせて学校の運営に取り組む、地域とともにある学校への転換を図るために有効な仕組みで、当市では令和6年度からスタートした。

【Q】学校運営協議会委員へ協議会の在り方や事例紹介、研修など実施され、運営委員の理解が得られたか。

【A】1回目の協議会で、学校運営協議会の在り方を説明し、8月に学校運営協議会委員及び小中学校教員を対象に講師を招き研修会を実施した。9割が「理解できた」と回答した。

【Q】地域と学校との連携、調整役の学舎ディレクターの活動内容は。

【A】学校運営協議会事務局と地域学校協働活動推進員を兼ねている。事務局としては、協議内容の検討や資料作成、会議報告書作成、他学舎ディレクターとの情報共有など。推進員としては、職場体験学習の体験先の調整や総合的な学習のボランティア募集などを行っている。



【Q】2校へ学校地域コーディネーターを配置したが経過と成果は。

【A】学校が必要とする地域ボランティアとの連絡・調整を行っている。来年度も課題や業務内容を明確にしたうえで配置の拡大を図る方針のため、本年度と同様に2名配置する予定である。

【Q】学舎コミュニティ・スクールの今後の目標とスケジュールは。

【A】地域総がかりでこどもたちを育てていくことが必要。令和9年度以降、全ての小学校への地域コーディネーターの拡充を進める予定であり、こどもたちに最善の学習環境を構築するよう努めていく。

一般 地球温暖化対策と再エネ普及

山下 修（みどり21）



エネルギー基本計画で2040年の電源構成は、再生可能エネルギー導入割合を40%から50%程度へと導入拡大を目指している。

【Q】本市事務事業における地球温暖化防止計画策定以降の取組は。

【A】ハード事業では、市立総合病院など10施設へ太陽光発電施設の設置、ソフト事業として環境マネジメントシステム・エコアクション21の認証を39施設で取得し、省エネ対策の強化に努めている。

【Q】本市のF-T制度で認定された再生可能エネルギーの導入量・構成比、対消費電力F-T導入比と、今後の推進は。

【A】令和5年度で3617基、発電能力8万3728kWで、構成比は太陽光発電が99%以上で、僅かだが、水力発電やバイオマス発電も導入されている。対消費電力F-T導入比は令和5年時点で32.5%で、国の19.3%、県の21.5%と比較して高い比率となっている。導入推進については、本市の補助制度をはじめ、

国や県の支援制度の周知に努める。なお、国の制度では今年度後半から、初期投資支援スキームが導入され買取価格が4年目まで1kWh当たり24円となる。

【Q】太陽光パネル廃棄処分に係る技術の進展状況は。

【A】主にリサイクル技術において、シリコンやガラス、金属部品を分離・再利用する方法が開発されており、国や県、本市では、不要となったパネルの適正な処分について広く周知に努めている。



菊川市の再生可能エネルギー施設

一般 令和7年度菊川市の茶業の現状

須藤 有紀（みどり21）



Q 菊川茶の海外輸出における海外需要の傾向及び実績は。

A アリババサイトの本年4月～7月（4か月）間の実績は、サイト閲覧数1413回、見積りなどの問合せ44件。令和6年度が年間で閲覧回数1125回、問合せ23件で、昨年の実績を大きく上回っている。

Q 台湾への働きかけは。

A 昨年11月に商品の海外市場開拓を進めるため、農林水産省の補助事業を活用して、市内の茶商と茶業協会が台湾に出向き、PR販売や商談を行った結果、手もみ茶に対する関心の高さを認識した。引き続き茶商と連携し、PRや情報収集を行っていく。

Q 令和6年度のビジネスコンテスト入賞者とビジネス展開の現状は。

A 最優秀賞Omii say株式会社は、本年3月にスイスでテスト販売を行い、抹茶1種類、煎茶3種類を現地の消費者が試飲した。現在、ロンドンでも菊川茶を販売できるように、ECサイトを整備する予定である。



台湾にて深蒸し菊川茶のPR

る。Blue Farm株式会社は、全国初の有機栽培による茶草場農法の茶葉を活用したアルミボトル飲料の製造に向け、商品名とボトルデザインを調整している。

Q ビジネスコンテスト実施後の伴走支援の充実について考えは。

A しっかりと伴走支援すること、地域経済に寄与することが大事だと思っている。コンテストの実施が目的ではないので、実施回数については今後検討していく。

一般 社会福祉法は市民のために

織部 光男（無所属）



菊川市の75歳以上の人口は本年約7500人、団塊の世代はそのうちの約2200人、約3割である。2000年に介護保険制度が始まり、その保険料は増加の一途である。福祉の現金給付には年金・児童手当・生活保護等があり、現物給付には医療・介護・保育等がある。生活保護は最後の権利であり人権を守るものである。困窮者へ寄り添う支援体制を強く望み質問する。

Q 生活保護の親族への扶養照会はどうしているか。

A 必要に応じて扶養義務者へ照会できることとされている。また扶養照会を行わないこととして差し支えないものもある。

Q 5歳児健診は実施しているか。

A 指導主事、保健師、保育士による市内幼保施設への訪問事業を実施している。

Q 市の健康寿命年齢・平均寿命年齢・最頻死亡年齢は何歳か。

A 市町単位での健康寿命は算出されていない。平均寿命年齢は、令和2年「市区町村別生命表」において、男性は82・4歳、女性は87・2歳である。また、本市の令和6年の最頻死亡年齢は、男性が87歳、女性は90歳であった。

Q 医療費・介護費の削減対策は。

A 健康チェックを昨年度55回実施し、延べ2432人に参加いただいた。健康寿命延伸に向けて団塊の世代を含めた健康づくりや介護予防に資する事業をより一層推進し、医療費・介護費の削減につなげていく。



一般 税金を支える事業者の行く末

黒田 茂（菊川ゆめ未来）



令和7年7月の東京商工リサーチに静岡県内企業倒産件数が公表された。人手不足・後継者不足・仕入原価高騰・賃金上昇と倒産に至る状況は様々である。菊川市の税金を支えるのは中小零細企業及び個人事業主や多くの生産人口である。直近6月時点で遠州地方の倒産件数が昨年比増加に転じている。自動車産業をはじめ、ものづくり産業が遠州地方を支えている。先般、自動車大手7社の2026年3月期営業利益が最大で合計2・6兆円消失見込みと発表があった。更に直近4月から6月において自動車を含む輸送機器の上場企業純利益は前年比42・1%減の大打撃を被っている。またにも市内事業者が痛みを被った場合、市税収入は減少し雇用も悪化し扶助費の負担増に繋がっていく。更にその先には市民サービス低下へのレールが見え隠れする。世界情勢と国内経済の現状を踏まえ市内事業者の行く末について次の質問をした。

㊦ 大手企業が利益減額を予想している中、中小下請事業者が大半を占



める菊川市において納税減額により税金不足が生じ市民サービスの低下を危惧するが、市としてサービス低下が起こりうるか伺う。

㊦ 本市は普通交付税の交付団体であるため、一定水準の行政サービスを行うための財源を保障されており、税金が下がった場合には、普通交付税が増える仕組みになっている。クラウドファンディングや企業版ふるさと納税による寄附金、市有財産の売却などに取り組み、自主財源の確保とともに市民サービスが低下しないように努めていく。

みんなの声

投稿者より

松下産婦人科で私も出産をしました。娘が菊川で産むことになれば親子2代での出産となります。無痛分娩も進んでいるのですね！

投稿者より

特集を通して、松下産婦人科医院の助産師さんの日々心がけていることやリフレッシュ方法を知ることができました。自分自身も松下産婦人科医院で産まれたので、とても興味深かったです。

傍聴者より

はじめて傍聴しました。大変興味深く、また是非傍聴したいと思います。

根拠が明確で反対、賛成されている議員のお話は聞いていて分かりやすく、私自身、市政に対する関心を深めるきっかけとなりました。一方で、代案を示さず感情論に寄った発言には理解が苦しく、良いことを言っているような気がするものの、心にはひびきませんでした。

《皆さまの声をお聴かせください》

「議会ひろば」を読んだ感想やご意見をお寄せください。

もれなく菊川市議会特製

“きくのんクリアファイル”をプレゼント!!

- メール gikai@city.kikugawa.shizuoka.jp
- FAX (0537) 35-2116
- 郵送先 〒439-8650 静岡県菊川市堀之内61番地

※議会への要望や意見なども受け付けています。
※クリアファイルの郵送のため、住所と連絡先も記載ください。



メール送信は
こちらのQR
コードを読み取
ると便利です。

議会活動レポート

原子力勉強会について

菊川市議会

7月17日、18日に柏崎刈羽原子力発電所に視察に伺いました。発電所では構内の施設見学やサイトシミュレーターにて運転員の訓練の視察を行い、柏崎市役所では原子力防災の取組について伺いました。



給食センターについて

教育福祉委員会

7月29日に菊川学校給食センターへ視察に伺いました。荷受け室や調理室など施設内部から、排水設備やボイラー室などの施設外部まで見学を行い、給食調製状況等について説明を受けました。



観光資源について

総務建設委員会

7月30日、31日に長野県北安曇郡小谷村へ視察に伺いました。杣池自然園、農山村体験交流施設ゆきわり草、雨飾高原を見学し、豊富な観光資源を活かした移住支援や過疎化対策について伺いました。



東遠議員交流フォーラムについて

菊川市議会

8月1日に近隣市議会（掛川市・牧之原市・御前崎市・菊川市）の議員65名が集まり、「荒廃農地を考える」をテーマに研修会を開催しました。静岡県の農業の現状や荒廃農地対策について研修と意見交換を行いました。



菊川市までお越しくださった皆さま、ありがとうございました。

4月24日 京都府舞鶴市議会
議会運営委員会
5月29日 和歌山県御坊市
総務文教常任委員会

令和7年4月から9月末までの期間に2件の行政視察をお受けしました。

他市議会からの視察受け入れ

地域包括支援について

教育福祉委員会

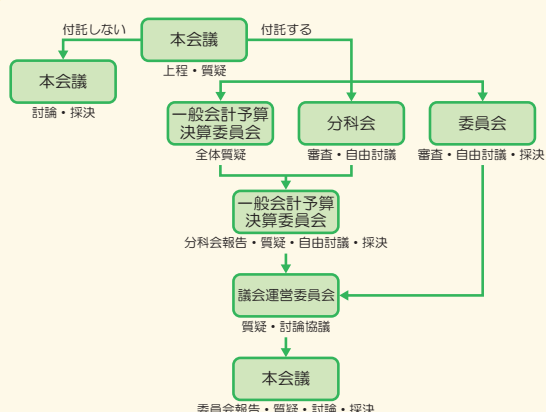
10月2日、3日に三重県いなべ市及び鳥羽市へ視察に伺いました。地域包括支援センターやフレイル予防事業など、高齢者の健康増進に関する取組について伺いました。



議会豆知識

議案審査の流れ

本会議に提出された議案の内、一般会計に係る議案は全議員で構成する一般会計予算決算委員会へ自動的に付託されて審査が行われます。この委員会の中には総務建設と教育福祉の2つの分科会があります。また、特別会計や企業会計、その他条例等に係る議案の審査は、議会運営委員会と専門的な審査が必要と判断された場合、総務建設又は教育福祉いずれかの所管する委員会へ付託し審査が行われます。全ての議案は、最終的に本会議場で全議員により採決を行います。





きかせてパパママの声

Vol.39

菊川市に住むお父さん
お母さんに聞きました。

結婚を機に菊川に引っ越してきました。菊川はとても住みやすいまちです。周りの人に助けられながら日々過ごしています。児童館や公園が近くにあるので、週末は夫と娘たちがよく利用しています。月に1回、こども食堂のお手伝いに参加し、食べてくれる人たちのことを考えながら作っています。菊川市でこれからも楽しく過ごしていきたいです。

品川 幸二郎さん・三保子さん



12月定例会の予定 (各日とも午前9時～)

11月	
28日(金)	議案の提案説明
12月	
1日(月)	議案の提案説明(前日の続き)
4日(木)	一般質問
5日(金)	
8日(月)	質疑・討論・採決・委員会付託
19日(金)	委員長報告・質疑・討論・採決
22日(月)	予備日

※予定が変更になる場合がありますので、事前に議会事務局(35-0941)へご確認ください。

あなたもできるこんなこと!



傍聴

本会議・委員会などを傍聴できます。開催日に議会事務局へお越しください。



陳情・請願

特定のことにについて、議会などに実情を訴え、適切な措置を要請できます。



市民説明会

委員会審査案件の審査経緯、結果などについて、説明会の開催を要求できます。

編集後記

前回の松下産婦人科医院を取材した特集には、多くの方からメール等でご感想を頂きました。ありがとうございました。

今回の特集は、こども議会。小学校5年生～中学校2年生のこども議員さんが、「こんな菊川市にしたい!」「菊川市がこんなふうになったらいいな」を提言にして発表してくれました。ぜひご覧ください。

(編集委員 須藤 有紀)

次回の議会のひろばは

2月発行予定です。

(年4回発行)

お楽しみに!



表紙の写真



令和7年こども議会
こども議員のみなさん

菊川市議事堂

【無料】地域住民と自治体をつなぐアプリ「マチイロ」
菊川市議会だより「議会のひろば」も登録しています!



ダウンロードはこちら

マチイロ

